## 【実施区域・面積】

神奈川県、0.18ha

## 【生態系タイプ】

創出緑地

## 【実施区域の状況】

・申請サイトは、横浜市鶴見区の国道1号沿いの緑が乏しい市街地の中において、ある程度の規模をもった緑地である。また申請サイトは、一般社団法人鶴見みどりのルート1をつくる会の緑化箇所に含まれており、周囲と一体となった緑地を形成している

・サイト内は、植栽由来であるが小規模な樹林環境、草地環境のほか、池や流れといった水辺環境も存在し、都市域に生息する動物にとって貴重な環境である。なお、サイト内の池では「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」が主催するトンボ調査が実施されている。

## 【目標】

・主に都市域に生息する動物にとって良好な生息環境となるように維持管理を行う。そして、地域の生物多様性の向上に資することを目的とする。

## 【主な活動内容】

●高田池にトンボ類を呼び込む工夫として、以下の活動を実施する。

・抽水植物を鉢植えし、鉢ごと高田池の中に設置する　・抽水植物を植栽することで、トンボ類が止まる場や羽化する場として機能する　・高田池にはアメリカザリガニが生息しているため、定期的な駆除を実施する。

●様々なタイプの草地環境の創出として、以下の活動を実施する。

・草刈りの頻度を変え、様々なタイプの草地を創出することで、草地性の昆虫類の生息環境を創出する。

## 【モニタリング計画】

・動物に関しては、自動撮影カメラの設置によりサイトを訪れる動物を記録するとともに、日常的に直接観察、鳴き声確認等により記録を行う。

・池においては、トンボに特化した調査を年1回実施する。

・数年に1回の頻度で、動植物の専門的な調査を実施する。

## 【実施体制】

申請者及び（一社）鶴見 みどりのルート1をつくる会は、日常的な観察を実施する。トンボはドコまで飛ぶかフォーラムはトンボ調査を実施する。株式会社地域環境計画は、専門的な動植物調査を実施する。







## 【計画期間】

2025年９月～2030年3月